学校番号	120

令和3年度　　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽②　教芸出版社						
副教材等	合唱楽譜　ミュージックノート（教育芸術社）　自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を通して学習します。・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。・芸術祭での発表を大きな目標として、みんなで音楽を創り上げる喜びを共感しましょう。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて、表現意図を持っている。	創意工夫をいかした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	学習の取り組み状況（観察・聴取）学習プリント　ノート　授業態度	学習の取り組み状況（観察・聴取）	課題進度状況　学習の取り組み状況（観察・聴取）	学習プリント　ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	正しい発声法で日本や外国の歌曲を歌う（独唱）	**【歌唱】 発声法･呼吸法　日本、外国の歌曲**	○	○	○	○	a:独唱にふさわしい発声の特徴や、音色、強弱などの音楽を形作っている要素、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりに関心を持ち、自分なりのイメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じ取り、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容とのかかわりを感じ取り、独唱にふさわしい発声や自分なりのイメージを持って音楽表現をするために必要な技能を身につけている。 d:音楽的な要素とそれ以外の要素とがかかわりあって生まれた総合的な芸術表現の特徴や、楽曲の文化・歴史的背景を理解し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを総合的に味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた批評活動に生かしている。	観察　学習プリント　ノート　発表演奏の聴取

1・2	ギター演奏	【器楽】 ギターの基本的な奏法と独奏	○	○	○		a:ギターの音色や奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生みだす特質や雰囲気を感受しながら、ギターの音色や奏法の特徴を生かして表現を工夫している。 c:ギターの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。	観察　ノート 演奏の聴取
2	ギターコード	【創作】コード進行に載せたメロディーの創作	○	○	○	○	a:ギターコードが生み出す特徴と創作したメロディーとの表現の効果との関わりに関心を持ち、創作に主体的に取り組もうとしている。 b:感性を働かせて、ギターコードの特徴を感じ取り、創造的に創作を工夫している。 c:コードによるメロディーの創作に自己のイメージを持ち、創造的な表現をするために必要な技能を身につけている。 d:創作した作品を客観的に理解し、より改善できるように努められru.	観察　ノート 演奏の聴取
2・3	三線演奏	【器楽】 三線の基本的な奏法と弾き歌い 【鑑賞】沖縄民謡にふれる	○	○	○	○	a:沖縄の音楽の文化的・歴史的背景や、三線と人々の生活との結びつきに関心をもち、意欲的に弾き歌いをしようとしている。 b:三線の基本的な奏法や沖縄民謡の特徴を理解し、個性豊かな表現ができるように創意工夫している。 c:三線の基本的な奏法や、沖縄民謡の特徴を生かした弾き謡をするために必要な技能を身につけている。 d:三線の文化的・歴史的背景、沖縄の状況を理解し、創造的に味わって聴いている。	観察　ノート 演奏の聴取
2・3	ハーモニーを作る	【歌唱】混声合唱	○	○	○	○	a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。 b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し。楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。 c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。・曲想と歌詞が亜表す情景や心情をかかわらせて感じ取り、それらを生かして表現するために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。 d:各パートの役割や音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。	観察　ノート　発表　演奏の聴取
3	総合芸術に触れる	【鑑賞】オペラ作品	○			○	a:オペラや作品の文化的・歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d:オペラの特徴や作品の文化的・歴史的背景、社会の状況などを理解し、創造的に味わって視聴している。	観察　ノート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫　c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。